

酪農宮崎

令和7年6月30日 印刷
令和7年7月 1日 発行

編集人: 有馬 慎吾
発行所: 宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県農業協同組合
電話(0985)31-2100
<https://miyazaki.mz-ja.or.jp>
印刷所: 宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.644
2025年7月



ミルクフェア



7月号目次

酪農情勢報告	1	農学部ナンノ教授のひとりごと	9
農業クラブ	2	全酪広告	10
ミルクフェア	3	全農広告	裏表紙
県知事贈呈式(父の日)	4		
自給飼料増産について	5~6		
飼料価格改定	7		
農大通信vol.13	8		



酪農情勢報告

1. 生乳生産動向

令和7年6月13日現在

指定団体	5月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	353,705	102.1	693,349	102.1
東北	40,707	100.2	80,496	100.6
関東	93,473	100.4	184,693	100.5
北陸	5,847	98.4	11,577	98.2
東海	26,166	99.2	51,855	99.1
近畿	12,595	99.5	24,953	99.8
中国	26,033	99.8	51,653	99.9
四国	9,083	100.8	17,996	100.6
九州	48,737	98.4	97,116	98.2
(内、宮崎)	6,051	97.4	12,136	98.0
都府県	262,640	99.8	520,339	99.8
合計	616,345	101.1	1,213,688	101.1

2. 販売状況

令和7年6月13日現在

用途	区分	5月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	249,448	98.8	482,436	98.8
	九州	33,400	98.5	64,766	98.6
はっ酵乳等	全国	36,387	98.4	72,120	99.9
	九州	7,286	96.6	14,449	98.0
特定乳製品	全国	179,415	103.1	362,702	104.1
	九州	5,672	99.4	12,978	95.9
生クリーム	全国	111,374	103.6	217,680	101.3
	九州	2,298	100.7	4,746	100.1
チーズ	全国	39,721	102.1	78,750	102.8
	九州	81	85.5	177	92.9
合計	全国	616,345	101.1	1,213,688	101.1
	九州	48,737	98.4	97,116	98.2

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3. 生乳出荷量別生産者戸数 5月

生乳出荷量	戸数
100 t 以上	6戸
80 t 以上 ～ 100 t 未満	戸
60 t 以上 ～ 80 t 未満	9戸
40 t 以上 ～ 60 t 未満	30戸
20 t 以上 ～ 40 t 未満	63戸
10 t 以上 ～ 20 t 未満	40戸
10 t 未満	14戸
合計	162戸
最高出荷量	653t/月
平均出荷量	37t/月

4. トピックス

JAみやざき物価高騰対策を決定！

いよいよ夏の到来を迎え、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。気象庁によりますと今年の夏は、太平洋高気圧の北への張り出しが強まり、全国的に気温は平年より高くなる予想で、近年続いているような「また猛暑」となる見込みです。降水量は、全国的に平年並みとなり引き続き、大雨にも注意が必要とのことです。真夏日や猛暑日が続き、湿度も上がって、より「熱中症の危険性」が高まっております。十分な睡眠をとり、疲れをためず、塩分・水分をこまめに補給し、熱中症対策を万全にお願いします。また、熱中症予防として、水分・塩分補給はもちろんですが、効果的にたんぱく質や糖質を摂取できる「牛乳」を積極的に飲みましょう。

今季の台風については、太平洋熱帯域では夏から秋にかけてエルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生しない中立が続く予想で、シーズン前半(～8月)は日付変更線付近から上層の寒気を伴った低気圧が亜熱帯付近まで南進し易い傾向で、平年の台風発生域より北側となり、日本の南や南東海上で大気が不安定になり、台風が発生し易くなります。シーズン後半(9～11月)は、引き続き日本の南や南東海上で台風が発生し易く、前半に比べ対流活動の中心が西寄りになり、平年よりも日本に近い場所で台風が発生するため、台風が発生してから日本に接近するまでの時間が短くなる可能性があります。台風発生数は、平年(25個)よりやや少ない23個程度の発生となる予想で、うち日本へ接近する台風は、平年並みの11個程度になるそうです。被害縮小のために台風情報を注視するとともに不測の事態に対して日頃の万全な備えをお願いいたします。

第2四半期(7～9月)の配合飼料価格改定は、主原料である穀物飼料価格の産地事情による値下げや海上運賃の不安化、為替相場が若干の円高等の影響により、第1四半期と比較し、全農系全畜種平均価格でトン当たり2,200円の値下げとなりました。しかしながら、配合飼料価格の高止まりに変わりございません。また、今年も春より悪天候が続き、日照不足や収穫遅れにより、春作のイタリアンライグラスの収量減や栄養価不足等が痛手となり、更には、飼料用トウモロコシも長雨等による生育遅れや湿害も危惧されております。このような中、JAみやざきは、物価高騰等の影響による組合員の経営悪化対策として、総額21億8千万円(金融対策含む)の支援を行い、酪農家向けの対策として、令和7年9月から令和8年2月までの半年間に供給した購入粗飼料のペレニアルライグラスに対し2万円/トン、アルファルファに対し1万円/トンを助成することが決定いたしました。

—唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である—

酪農課 加藤 喜博

第76回宮崎県学校農業クラブ連盟大会

～家畜審査協議会～

【大会概要】

令和7年6月11日(水)にJAみやざき都城地区本部家畜市場にて家畜審査競技会が乳用種種牛の部と肉用種種牛の部の2部門に分かれ開催。

未来の畜産業の担い手である高校生たちが、学校農業クラブ等の活動を通じて得られた知識・技術を競い、畜産技術や職業能力の向上を図る目的をもって行われた。

県内から高千穂高校、高鍋農業高校、都城農業高校、小林秀峰高校の4校から総勢約58名の生徒が参加し、乳用種種牛の部では内28名の参加であった。

乳用種種牛の部においては、「ホルスタイン種雌牛審査標準」に基づき、現状審査が行われた。出場選手は4頭の乳牛について制限時間20分以内で審査を行い、各部位ごとの序列や全体の序列を決定し、各自の審査が正解にどれだけ近いか得点によって順位を競うというものであった。

審査委員長は認定ジャッジマンの資格を有する酪農家の今山陽一氏(都城市)が務め、厳正なる審査を行った。

選手による審査の様子



審査員による審査講評の様子



入賞された選手



「みやざきミルクフェア2025」開催

JA みやざき 酪農課 黒木 久美子

6月14日(土)15日(日)の2日間、イオンモール宮崎にて「みやざきミルクフェア2025」を開催しました。

今年は、例年実施している手作りバター教室と牛乳パックを使用した工作ワークショップ体験の他に新たに牛乳100mlを目指して注ぐ「モーモー計量チャレンジ」等を実施しました。先着100人があっという間に終了し、午後から追加で開催するほど大盛況でした。

その他、模型牛「ミル子」の搾乳体験やバラエティ豊かなステージイベントが各会場を大いに盛り上げました。

今後もこのようなイベントを通して酪農および牛乳・乳製品への興味関心を高めてもらうことで、消費拡大に繋がっていききたいと思います。

【松浦牧場 酪農のリアルトークショー】



14日と15日の2日間、牧場のリアルを伝えるステージイベントに松浦牧場の松浦さんご夫婦に登壇して頂きました。お忙しい中、「モーモー選手権」審査員やMILKショップ等ご協力ありがとうございました！！

【MILKショップ OPEN!!】



県内酪農家が出店。ソフトクリーム、チーズ等の乳製品を販売して頂きました。ご参加頂きましたダイワファーム様、中西牧場様、松浦牧場様、高原アイスクリーム研究所様加藤牧場様ありがとうございました！！

【ミル子の搾乳体験】



本物そっくり模型牛「ミル子」の搾乳体験は行列ができるほど大人気でした！

【モーモー計量チャレンジ】



モーモー計量チャレンジ終了後は、参加者のみなさんが美味しそうに牛乳を飲んでいました。

手作りバター体験・牛乳パックを使った工作ワークショップ



牛乳パックでウィンドカーを制作し、うちわの風でレース！子ども達の笑顔が溢れてました。

【ヒナタテラスでのステージイベント】



「せんぐまき」、「モーモー選手権」等大盛り上がるのステージイベントでした。

「父の日に牛乳(ちち)を贈ろう」キャンペーン知事贈呈

宮崎県酪農青年女性連絡協議会は、6月2日(月)に、宮崎県庁にて県知事・両副知事・農政水産部長・畜産局へ牛乳・乳製品を贈呈し、今年度の「父の日に牛乳(ちち)を贈ろうキャンペーン」としての消費拡大運動を実施しました。

宮崎県酪農青年女性連絡協議会会長の長友佳奈美氏は、「酪農をとりまく環境は、円安による飼料価格の高騰などを背景に厳しい経営状況が続いている。これから暑い日が続くが、牛乳は熱中症対策に良いと言われているため、沢山の方に飲んでいただきたい。」と話されました。

河野知事は、牛乳を飲んで「まろやかでとても美味しい。県民の方に一杯でも多く牛乳を飲んでもらえるようPRに励みたい。」と話されました。

知事贈呈だけでなく、地域の青年女性部会でも各市町村長や県下JA地区本部長方に各地区の代表から随時贈呈を実施しています。

これからも「父の日には牛乳(ちち)」と定着できるよう積極的に活動していきます。

JA みやざき 酪農課 伊豆元 真由子



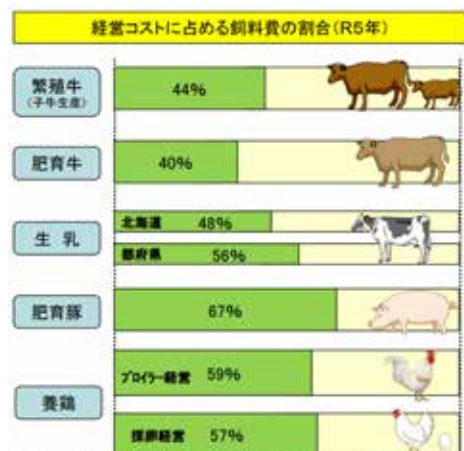
河野県知事への贈呈式

自給飼料増産に向けた様々な取り組みについて

1. はじめに

経営コストの約半分以上を飼料費が占める畜産経営にとって、自給飼料の生産は、重要な課題です。特に酪農では、粗飼料の質と量が乳量・乳質に直結するためその確保に頭が悩ませている方も多いと思います。

昨今の不安定な国際情勢により、肥飼料の価格は依然として高止まりが続いていますが、そのような中、国内では持続的な畜産経営を実現するために、改めて自給飼料の増産に目が向けられています。



資料：農林水産省「令和5年畜産物生産費統計(確報)」および「令和5年畜産種類別経営統計(確報)」
注：繁殖牛(子牛生産)は子牛1頭当たり、肥育牛および肥育豚は1頭当たり
生乳は実搾乳量100kg当たり、養鶏は1経営体当たり

2. 自給飼料増産に対する国の施策について

国は、飼料自給率の向上を目的として、①飼料作物の作付拡大、②草地基盤整備等による飼料増産の推進、③耕畜連携による効率的・安定的な自給飼料の確保、④コントラクター等による飼料生産の効率化等、様々な取り組みを推進しています。

国産飼料の生産・利用の拡大にあたり、皆さんが活用可能な事業もありますので、御自身の経営状況に合わせて活用を検討しましょう。



※1 コントラクター：飼料作物の収穫作業等の農作業を請け負う組織

※2 TMRセンター：粗飼料と濃厚飼料を組み合わせた牛の飼料(Total Mixed Ration)を製造し農家に供給する施設

農林水産省「飼料をめぐる情勢(R7.5)」

3. 自給飼料生産に関する県の取り組み

国と同様に、宮崎県でも自給飼料増産の取り組みに力を入れています。

県が掲げる「3つの日本一挑戦プロジェクト」のうち、「グリーン成長プロジェクト」では、目標の1つとして「粗飼料自給率100%」が設定されており、達成に向けた取り組みを進めています。

更に、その取り組みの1つに「耕畜連携の推進」があります。地域資源を有効活用した、安価な肥飼料を安定的に確保する体制の構築は、今後、宮崎の畜産を持続的に発展させるために必要となる取り組みです。

現在、県内各地域で、耕種農家やコントラクター組織等により自給飼料を供給する仕組みづくりが進められています(詳細は、宮崎県の農林水産情報サイト「ひなたMAFiN」に掲載されている「宮崎県耕畜連携推進マニュアル」をご覧ください)。これらの取り組みがより発展するよう、関係者一体となって支援を進めていきたいと思っています。



4. 酪農家実践できる自給飼料増産の取り組み

これまでご紹介した国の施策や県の取り組みは、将来を見据えた中長期的なものです、皆さん自身で今からできる取り組みもあります。

(1) 地域の気候にあった優良品種の選定

作付体系や栽培品種を見直すだけでも、収量が増加する可能性があります。県畜産試験場では、毎年、各地域の農業改良普及センターと連携して宮崎県の気候に適した飼料作物の品種選定を実施し、県奨励品種一覧としてとりまとめています。一度、御自身の現在の作付状況について整理し、見直してみましょう。



【県奨励品種一覧】

(2) 適切な栽培管理

優良品種を選定し、期待通りの収量を得るためには、適切な栽培管理も重要です。

① 土壌分析に基づく適正施肥

圃場の養分(窒素、リン、カリ等)が不足すると、植物は十分に生育することはできません。良質堆肥の利用を基本としながら、定期的に土壌分析を行い、不足する養分は肥料で補いましょう。



【適切に管理された圃場】

② 雑草及び病害虫防除

雑草の繁茂や病害虫の発生は、収量や品質を低下させるため、早期防除が必要です。登録のある農薬であることを確認し、ラベルに記載されている用法・用量を守って使用しましょう。

また、適正な播種及び収穫時期の遵守等による被害軽減対策にも合わせて取り組みましょう。

③ 適期収穫

品種毎に刈取適期があります。一般的に、乾物収量とTDN収量は生育するにつれて増加しますが、適期を過ぎると、タンパク含量(CP)は低下し、粗繊維が増えて固くなるため、牛の嗜好性や消化率が低下します。結果として、食べ残しが増え、せっかく作った粗飼料が牛の栄養にならずに終わってしまうことになります。

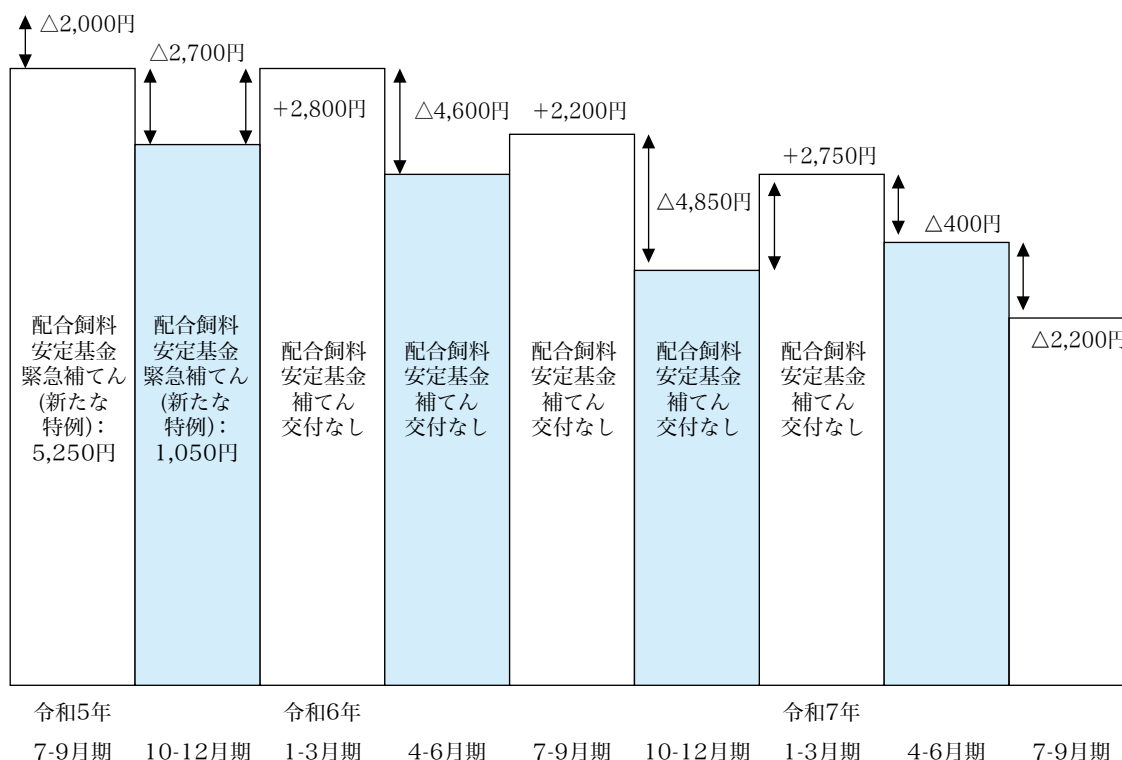
収穫は天候に大きく左右されるため、毎年苦労されていると思いますが、刈取適期を逃がさぬよう、収穫時期を適切に見極めましょう。

5. 最後に

自給飼料の確保、増産に向けた取り組みは、一朝一夕で成果が上がるものではありません。しかし、安定した酪農経営を実現するためには必要不可欠な取り組みです。まずは、できることから取り組みを進めていきましょう。

(宮崎県総合農業試験場 専門技術センター)

配合飼料価格改定の推移について(令和7年7～9月期)



1. 主要因

①とうもろこしのシカゴ定期は、3月上旬には460セント／ブッシェル前後で推移していたが、4月10日米国農務省発表の需給見通しで米国産とうもろこしの期末在庫が市場の予想を下回ったことなどから、4月中旬には490セント／ブッシェル前後まで上昇した。その後、南米産とうもろこしの豊作期待や米国産新穀とうもろこしの作付が順調であることなどから下落し、現在は440セント／ブッシェル前後で推移している。今後は南米産地の作柄や米国産新穀の生育期の天候などに左右される相場展開が見込まれる。

②大豆粕のシカゴ定期は、3月上旬には330ドル／トン台で推移していたが、米国において大豆搾油量が堅調に推移していることに加え、南米産大豆の豊作見通しや、米国産新穀大豆の作付が順調であることなどから下落し、現在は320ドル／トン台で推移している。

国内大豆粕価格は、為替円高の影響やシカゴ定期の下落などから値下がりが見込まれる。

2. 海上運賃

米国ガルフ・日本間のパナマックス型海上運賃は、2月上旬には47ドル／トン前後で推移していたが、原油相場が下落したことなどから、3月上旬には45ドル／トン前後まで下落した。その後、航海日数の長い中国向けの南米産大豆の輸出が堅調に推移し船腹需給が引き締まっていることなどから上昇し、現在は48ドル／トン前後で推移している。

今後は、南米産大豆の輸送需要が引き続き堅調なものの、原油相場が軟調であることなどから、現行水準で推移するものと見込まれる。

全国全畜種総平均(全農系)トン当たり2,200円値下げとし、銘柄別に決定する。

農大通信 vol.13 ～燃えよ若人、胸を張れ～

♪若い力と感激に♪このフレーズから始まり、今回の副題につながるこの曲を懐かしいと感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私の出身校では体育大会の際にこの「若い力」を全校合唱して士気を高めたことを覚えております。ところで体育大会と言えば、農業大学校にも大きな大会があります。九州管内の農業大学校の学生がスポーツを通じて交流を深めるため、毎年、一堂に会して九州地区農業大学校親善体育大会を開催しています。



R6年度宮崎大会 県武道館にて

この大会は、九州各県の持ち回りで実施しており、昨年度は宮崎県が主催県となり、宮崎市内の様々な会場で軟式野球、サッカー、硬式テニス、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球、陸上の8つの競技が実施されました。



バスケット部因縁の福岡県との対決

日頃から農作業を通じて体を鍛えている学生たちは、そのあふれんばかりの体力を振り絞って全力で競技に臨み、試合の結果によっては悔しさのあまり涙を流す場面もありました。



整列してプレイボール！！

なお本県は、昨年度に軟式野球とサッカーが優勝、バスケットボールは準優勝、その他の競技でも3位入賞を果たすなど、優秀な成績を収めております。昨年、惜しくも優勝を逃した競技では「今年こそ優勝を！」と闘志を燃やす学生もあり、今年も大いに盛り上がりそうです。

ちなみに、今年は長崎県で9月11日、12日の2日間にわたって開催されます。気温も湿度も非常に高くなることが予想されることに加え、移動距離も長いので、学生たちが100%の力を発揮できるか今から心配ですが、全員が悔いを残さず全力で楽しめるよう、私たち職員も全力でサポートしていきます。



試合の後はノーサイド、良い交流となりました

農学部 ナンノ教授のひとりごと

牽牛花

南野 快

7月といえば七夕、七夕と聞いて思い浮かべる花にアサガオがある。その通り、アサガオは旧暦7月7日(彦星、すなわち牽牛星が伝説に登場する七夕の頃)に咲く花であることから別名を「牽牛花(けんぎゅうか)」(牽牛は牛を牽引するという意味で、)というが、その昔、農夫がアサガオの種子(下剤や利尿に効く、牽牛子“ケンゴシ”という漢方の生薬)を服用して病気が治ったため、そのお礼に牛を牽いてアサガオのある田んぼに行ったという中国の故事にも由来する。では何故、お礼に牛を牽いたのか？それは恐らく、牛に鋤を引かせて田を耕し(牛耕)、田んぼに放牧して雑草を食べさせ、糞を堆肥として利用することで、アサガオと田んぼにとっても利益になることを意味しているのだと想像する。牛はぬかるみの中を歩くのを厭わないので、牛耕は水田で重宝されていた。また、稲ワラは牛の餌にもなる。古来、このような循環農法は当たり前実践されていた。いずれにせよ、人間は牛と米を上手に利用して双方から恵みを得つつ、アサガオからも恩恵を得ているのである。

さらに、人類、特に日本人は、アサガオによる花や葉の形の変化を楽しむ「変化朝顔」という鑑賞も文化として取り入れてきた。江戸時代にはアサガオの栽培が盛んになり、品種改良によって様々な変化朝顔が生まれた。変化朝顔には、ゲノム上の特定の場所から別の場所に移動できるDNA配列(転移遺伝子:トランスポゾン)が関係していて、アサガオの突然変異の多くはトランスポゾンによって誘発されている。また、アサガオは多くの日本人にとって学校の授業でも馴染みがある。

このように、アサガオは薬の材料にもなり、勉強の材料にもなることから、人にとって大変有益な植物である。ただ、食用には向かないようだ。また、アサガオと似

て非なる花としてチョウセンアサガオがあるが、瞳孔散大、心拍促進や興奮などの症状を示す食中毒の原因となるので口にはいけない。

アサガオとくれば、ヒルガオ、ユウガオ、ヨルガオも思い浮かべる。この中でユウガオだけがウリ科で、あとの3つはどれもヒルガオ科に属する。ユウガオの実は「かんぴょう」の材料である。

ところで、旧暦7月7日は現在の暦では8月にあたる。仙台七夕まつりが8月に開催されるのもそのためである。旧暦の七夕は、お盆や稲の豊作祈願と関連が深く、新暦の8月6日～8日に開催されるようになったという。ちなみに北海道では今でも旧暦の7月7日に近い8月7日を七夕とする地域が多い。

今年の七夕は朝にアサガオを鑑賞して、夕方には笹飾りに付ける短冊に願いを込め、干瓢巻きを賞味させてもらうことにしようかな。



写真: M大学農学部のキャンパス内で咲くアサガオ(10月10日午前8時半に撮影)

ZENRAKUREN



初乳粉末製品

全酪連の牛用混合飼料

GOOD START

PREMIUM

グッドスタート プレミアム 内容量 250g/袋

免疫グロブリン
70g/袋以上
含有



和牛
にも!

消化・吸収・機能性に優れた各種成分を配合しました!

良質な
初乳粉末

中鎖脂肪酸

ビタミン
ミネラル

乳酸菌
ビフィズス菌

全卵粉末



全国酪農業協同組合連合会

くみあい配合飼料 乳配

くみあい配合飼料

フレーク&ペレット

➤ 乳配M

- CP 17.0%・TDN 72.0%
- ハイキューブ、綿実を多く配合したミックスタイプ



➤ 乳スタンダード

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- ローコストでベーシックな搾乳牛用配合飼料



➤ 乳ブレンド18

- CP 18.0%・TDN 74.5%
- 綿実・ビートパルプを多く配合



マッシュタイプ

➤ デイリープレミアムM

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- バイパス蛋白配合
- ビタミン・ミネラル強化



➤ パワーSマッシュ

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- シンプルな内容で低コストを実現

